

武豊町地域公共交通会議 第25回 議事録

日時：平成29年3月27日（月）

14：30～16：00

場所：全員協議会室

○事務局

- ・武豊町地域公共交通会議の第25回会議を開催させて頂く。
- ・資料確認
- ・会議次第に従い始めさせていただく。

1. 会長あいさつ

○初山会長（武豊町長）

- ・こんにちは。お世話になっております。年度末ご多忙のところ参加頂きありがとうございます。
- ・今年度10月から運行事業者がレスクルに交代し、半年経過しました。安全運行をいただいています。利用者数についても順調に増加していることを報告したい。
- ・北部赤ルートの一部停留所の位置を変更して、利便性を向上させた。
- ・利用促進友の会さんの活動のペーパークラフト事業のおかげで家族でのバスを利用する姿を見かけるようになりました。町民の足として活用されるよう事業を進めていきたい。
- ・本日は、報告事項2件、議案2件、その他2件を予定しています。
- ・委員の皆様からは忌憚のない意見を頂戴したい。忙しい中出席していただいたことにお礼を申し上げ挨拶とさせていただきます。

○事務局

- ・今回の会議から新しく委員になる3名の委嘱状をお渡しします。
- ・長尾部長青木様、大足区長出口様、富貴地区森田様

<委嘱状交付>

○司会

- ・ありがとうございます。議事に入らせて頂きます。
- ・本日の出欠状況について報告します。代理出席について委任状をレスクル様、安全タクシー様、県振興部の3名の委員からいただいております。また、代理出席していただいております。また、商工会様、愛知県バス協会様、愛知県知多建設事務所様、愛知県タクシー協会様、半田警察様の5名の委員から欠席の報告を受けております。過半数を超える委員の出席を頂いておりますので、規約に定める開会要件を満たしております。
- ・会議は公開で行い、町のホームページなどで広くお知らせします。

○伊豆原座長

- ・議事をとり進めさせて頂く。町長の挨拶にありました、報告2件、協議2件、その他2件あります。さっそく議事に入ります。

2. 議事

●報告事項1：武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。利用実績について、ご質問、ご意見いかがでしょうか。
- ・利用が増えています。うれしい話だと思う。乗合タクシーも146%の増加。コミュニティバスも増えている。こんな事例はあまりないのではないかと。町民の皆さんには誇ってよい数字だと思います。宜しいでしょうか。確認させていただきとして次の議事に移ります。

●報告事項2：前回会議で決定したバス停留所の移設及び運行経費の変更について

○事務局

- ・資料説明
- ・前回会議で承認。3月1日より変更し運行している。

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。ご質問、ご意見ありますか。
- ・住民からのわからなくなったとの問い合わせ等ありませんか。アオキスーパーなど。

○事務局

- ・ご質問を受けたことがありますが、利便性が高まったとの声も聞いている。

○伊豆原座長

- ・よろしいか。これも前回協議し、3月1日に変更した。確認いただいたとして、次の議事に移ります。

●第1号議案：平成30年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。来年度の改善計画の補助金申請にかかる計画についての協議です。ご質問、ご意見ありますか。
- ・これは、次の6月末までに確認して、国支局に提出することになっています。年度をまたぎ

ますので、今のメンバーで議論していただいて、次の会議で、もう一度確認して正式な資料とする予定です。

- ・忌憚のないご意見を頂戴できればと思いますが、如何でしょうか。
- ・事業の目標は、昨年も設定したが、過去のデータをここまで載せる必要があるだろうか。旧ルートでの実績は知らないのではないかと思う。資料として残すのは必要だが、申請書類に必要なかは、愛知支局と調整ください。

○事務局

- ・愛知支局と調整させていただく。

○伊豆原座長

- ・事業の効果については、前回とかわらない文章なので、今回大きく利用が増えたので、ルート変更、商業施設の乗り入れにより、利便性が高まったことを強調していただいたらどうでしょうか。国土交通省もしっかりと確認しているので、事業変更したことは、特に効果の点は、会議で確認していることをふくめて、掲載すべき。利用促進友の会の活動もしっかりやられていることを記載ください。県からも表彰されたし、国からの表彰もされている。
- ・国からも期待されているので、そうした効果を確認いただきたい。

○古橋委員（愛知運輸支局）

- ・なるべくアピールしてください。

○事務局

- ・アピールするよう文章を整理させていただく。

○伊豆原座長

- ・はじめて参加された方においては、こうした議論をしていることを承知ください。

○青木雄一委員（長尾部長）

- ・商業施設の乗り入れにより、利用がどんな変化があったのか。
- ・補助金がいくらもらえるのか、補助金要綱を教えて欲しい。

○事務局

- ・商業施設の利用状況について、停留所別の乗降調査データがあり、半田イオン店は、知多武豊駅前に次いで、利用の多いところ。具体的な利用量の数値変化は、計画に記載するようにしたい。
- ・補助金は、789万円9,500円を頂戴した。

○出口雅彦委員（大足区長）

- ・南部青ルートが大足区を通行している。自動車に乗っている人が多いが将来は利用するようになるだろう。また、温水プールの建設が予定されている。プールの整備に応じてルートの変更がされるのか。

○事務局

- ・温水プールは平成33年度までに建設する計画である。意見を頂戴して、ルート等良い方向にしていきたい。

○古橋委員（愛知運輸支局）

- ・プールについて、整備計画が決まっているのであれば、乗り入れる検討を進めて欲しい。
- ・名古屋市にオープンするレゴランドは、バス停留所をつくってなかった。バス業者も困っている。計画段階から考えておくべきこと。

○総務部長

- ・温水プールは、平成34年に整備しオープンする予定。同時に駅東地区の区画整理事業も進めており、ロータリーを整備する。こうした関連整備を想定して、ルート・停留所の設置を検討しておきたい。

○伊豆原座長

- ・公共施設での乗り入れは当然考えておくべきこと。計画敷地の中で対処をお願いしたい。
- ・三好市や尾張旭市などの大型商業施設ができる時は、玄関前にバス停留所の設置を計画中に用地確保の検討がされている。ルートも事前協議されており、買い物客向けに、館内放送がされることも取り組まれている。そうした放送で安心して利用される。
- ・公共施設だけでなく、その他施設で、そうしたサービスがされると良い。
- ・是非こうした確認を議論できると良いと思う。平成34年がオープンだとすると、概略設計検討のタイミングで、そうした確認を是非お願いしたい。

○森下照夫委員（老人クラブ）

- ・温水プールができた時、学生が利用するという話になるだろう。学校からプールに行けるような方法について町の考えがあれば教えてほしい。

○総務部長

- ・大足地区にできる温水プールへの移動についてちょうど議論している。学校の授業で利用することも検討しており、専用バスの導入を検討している。

○伊豆原座長

- ・その他如何ですか。ご意見、ご質問もないようなので、ご指摘の点を追加修正して、次の会議の際に正式決定したいと思います。今回は、これらの指摘をふまえてご承認いただいたとして進めてよいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。

●第2号議案：平成29年度事業計画案について

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。来年度の事業計画案について説明いただきました。
- ・ご意見、ご質問等ありますか。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。
- ・無いようなので、議決事項です。全員合意として進めてよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。全員の承認を得たとします。

3. その他

●平成29年度利用促進事業の活動計画等について（利用促進友の会の活動計画）

○櫻場敬信委員（利用促進友の会）

- ・平成29年度も事業活動を予定している。ペーパークラフトを配布する。子供に配り、親御さんと利用していただきたい。いこいのサロンでは、参加している人に、ランチタイムに交流センターを利用してもらう企画を実施した。来年度も予定したい。
- ・従来企画として、乗って企画（観光事業）を継続していきたい。ソバ打ち体験ツアーは好評でしたので継続してやりたいと思う。
- ・サンキュープレゼント、39番目の利用者にサプライズとしてプレゼントを渡している。
- ・ゆめころんの56にかけて、5月6日を「ゆめころんの日」と指定して、イベント企画を検討中。
- ・友の会の活動が動き出した時にベンチをつくりました。古くなってきたので、今年と来年で10脚づつ、更新していきたい。
- ・産業祭りの体験利用も継続実施します。

○伊豆原座長

- ・いろんな企画を予定していただいている。

○大岩正巳（社会福祉協議会）

- ・憩いのサロンの参加者にバスを利用していただけるとありがたい。福祉系のイベントの時も、ダイヤ設定していただけるとありがたいです。

○櫻場敬信委員（利用促進友の会）

- ・いこいのサロンでの利用を検討した。サロンの近くにバス停があるところは4箇所しかない。他は少し遠いため、あまり利用できない。

○伊豆原座長

- ・サロンの会場にもよることがわかります。こうした議論をしていただきながら利用促進を進めて欲しい。コミュニティバスの運行で、老人会・シニアクラブの入会は増えていませんか。

○森下照夫委員（老人クラブ）

- ・老人会の会員は減少気味です。

○大岩正巳委員（社会福祉協議会）

- ・憩いのサロンの利用は増えていると聞いています。

○出口雅彦委員（大足区）

- ・憩いのサロンの8箇所は増えていると聞く。サロンは地域密着の施設のため、バスを利用して参加してもらうというのは少し違うかもしれない。

○伊豆原座長

- ・他いかがでしょうか。

○大岩正巳委員（社会福祉協議会）

- ・中央公民館のバス停留所は廃止したのか。

○櫻場敬信委員（利用促進友の会）

- ・ルート見直しで乗合タクシーに転換した。

○事務局

- ・平成27年10月のルート改変の時に変更しました。利用者数が少なかったことを理由に全体ルートの再編の中で、見直しました。地元説明会で乗合タクシーの利用方法を事前説明し、事業転換を理解いただいた。

○伊豆原座長

- ・バス停留所の廃止は、事務局もつらいことだと思う。現状は、これだけ利用が伸びてきているので、その他の場所での利用希望の声があがってきたら、このままでよいか、中間見直しもするので、30年度の見直しの時に議論させていただきたい。
- ・利用促進友の会さんの報告についてありがとうございました。

●「ジョルダン」とのバスナビゲーションサービスの提供について

○事務局

- ・ナビタイムの登録に次いで、2つ目のサービスに登録した。

○伊豆原座長

- ・バス利用のネット検索の代表的なサイトです。若い人にはスマホを利用されているので、便利になりました。高齢者でも最近はスマホ利用が増えていると思うが。

○出口雅彦委員（大足区）

- ・私もインターネットを使わないので、その他の確認方法はないのか。

○事務局

- ・時刻表を配布しています。

○森田和雄委員（富貴区）

- ・富貴地区は、スーパーなどがないところ。今すぐではないが、自動車の運転ができない人が増えてくる。将来バスを増やす時があれば、新しいルート設定をお願いしたい。

○総務部長

- ・買い物難民という言葉がある。ルートの充実を図るには、バスを追加するなどが必要となるため、将来的な検討として賜りたい。

○古橋委員（愛知運輸支局）

- ・バス業界について話しておきたい。運転手不足を抱えている。バスを導入しても運転手が確保できない場合がある。将来は、自動運転がどうなるかわからないが、人材確保が難しいということを留意ください。

○伊豆原座長

- ・クロネコヤマトの宅急便業界と同じ。地域で助け合って、交通サービスを利用する仕組みを作っていかなければならない時代だと思う。

○櫻場敬信委員（利用促進友の会）

- ・自動車を使っている人は、まずバスには乗らない。車のない人、免許を返納した人そうした人がバスだけに頼る生活はつらい。バスの不便さを補う仕組みが必要で、それはタクシーだと思う。ただ、タクシーは料金が安い。
- ・タクシー料金の2割を行政負担し、1割を事業者が、残りの7割を自己負担するなどの仕組みが重要ではないか。こうすれば自動車を所有・保管するよりもタクシーは安くなる。
- ・こうした議論を作業部会でできると良い。

○伊豆原座長

- ・平成30年度に計画の見直しを行うのなら、来年度から議論を始めたらどうか。運転手不足問題があるのなら、みんなで助けあう仕組みを考えるチャンスでもある。行政だけでなく、住民の皆さんと一緒に考えよう。
- ・問題は、「じいちゃん」がバスに乗らない。ばあちゃんは人に聞いて乗れる。じいちゃんは人に恥ずかしくて聞けないので、乗れない。こうしたことも知ったうえで、みんなで話し合ってくれると良い。
- ・タクシーもみんなで利用すれば、相乗りすれば安くなる。ちょっと利用する時間を調整できればよい。
- ・皆さんから良い意見を頂戴できたと思う。

○古橋委員（愛知運輸支局）

- ・タクシー業界は初乗り料金を値下げした。また、運転免許証返納者に対して、1割の割引制度を導入している。江南市や蒲郡市では、行政が一部運賃を負担する制度を導入している。利用が増えると行政負担が増える問題があるが、他の取組を勉強したらどうか。

○伊豆原座長

- ・検討部会の設置を事務局に検討してもらえばと思う。
- ・ジョルダンへの情報提供から話がそれてしまったが、良い議論ができた。
- ・ナビゲーションシステムについては、スマホを活用した事例が増えている。かなり導入経費が安くなり、飛島村では導入された。飛島村ではスマホを利用できないお年寄りでも、役場に電話してもらい、役場の職員が代わりに調べて運行状況をお知らせする取組をしています。

○森田義弘（議会）

- ・櫻場委員などから良い意見を頂戴した。
- ・多くの人に利用してもらえるよう議会でも検討している。タクシーの運転手不足問題も聞く。憩いのサロンや運転免許証返納者対応など、参考となる意見を頂戴した。適切に当局で対処しており感謝したい。

○伊豆原座長

- ・その他ご意見等ありますか。
- ・無いようなので、議事を終了し、事務局に進行をお返しします。

4. 閉会

○事務局

- ・伊豆原座長、議事進行ありがとうございました。
- ・閉会にあたり、町長よりごあいさつをお願いします。

○初山会長（武豊町長）

- ・伊豆原先生、議事の取り回しありがとうございました。また、委員の皆様には、活発に審議いただき貴重なご意見をありがとうございました。
- ・町としては、事例を研究していきたい。利用促進友の会さんとは、引き続き一緒に活動を進めたい。
- ・平成29年度は、平成30年度の評価の準備期間として、準備を進めます。事業は効率的な運行となるよう議論を進めたい。

○事務局

- ・ありがとうございました。以上をもちまして武豊町地域公共交通会議第25回会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上